

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2028年3月15日まで（2020年1月24日設定）	
運用方針	マッコーリー オーストラリア・ハインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびマッコーリー オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券等に投資を行います。なお、豪ドル預金または円預金等を活用することがあります。 債券、株式および不動産投資信託証券への資産配分比率は原則として40：40：20を維持することを基本とします。なお、資産配分比率は投資環境等に応じて見直すことがあります。投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式および不動産投資信託証券の実質組入比率を引き下げ、投資リスクの抑制を図ります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。各マザーファンドの運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	マッコーリー オーストラリア・ハインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびマッコーリー オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア REIT マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア ハインカム債券 マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
マッコーリー オーストラリア REIT マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益の水準を考慮して分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

オーストラリア好利回り 3資産バランス＜為替ヘッジあり＞ （年2回決算型）

愛称：実りの大地（ヘッジあり）



第9期（決算日：2024年3月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「オーストラリア好利回り3資産
バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」は、
去る3月15日に第9期の決算を行いました。ここに
謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社は何れも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金込み 分配	騰落率						
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
5期(2022年3月15日)	10,222	65	△2.1	38.3	—	35.7	△0.9	18.1	70
6期(2022年9月15日)	9,537	40	△6.3	32.6	—	38.0	△0.1	16.5	90
7期(2023年3月15日)	9,707	10	1.9	33.4	—	38.9	△0.0	17.1	99
8期(2023年9月15日)	9,698	10	0.0	30.3	—	38.6	△1.2	15.2	106
9期(2024年3月15日)	10,304	10	6.4	33.7	—	38.7	—	17.2	117

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
(期首) 2023年9月15日	9,698	—	30.3	—	38.6	△1.2	15.2
9月末	9,553	△1.5	30.3	—	38.8	△1.4	14.8
10月末	9,312	△4.0	30.9	—	39.0	△0.7	14.7
11月末	9,609	△0.9	34.1	—	38.0	△0.6	16.6
12月末	10,039	3.5	34.9	—	37.9	0.2	17.2
2024年1月末	9,988	3.0	34.5	—	38.1	△1.2	17.2
2月末	10,164	4.8	34.7	—	38.5	△0.3	16.9
(期末) 2024年3月15日	10,314	6.4	33.7	—	38.7	—	17.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

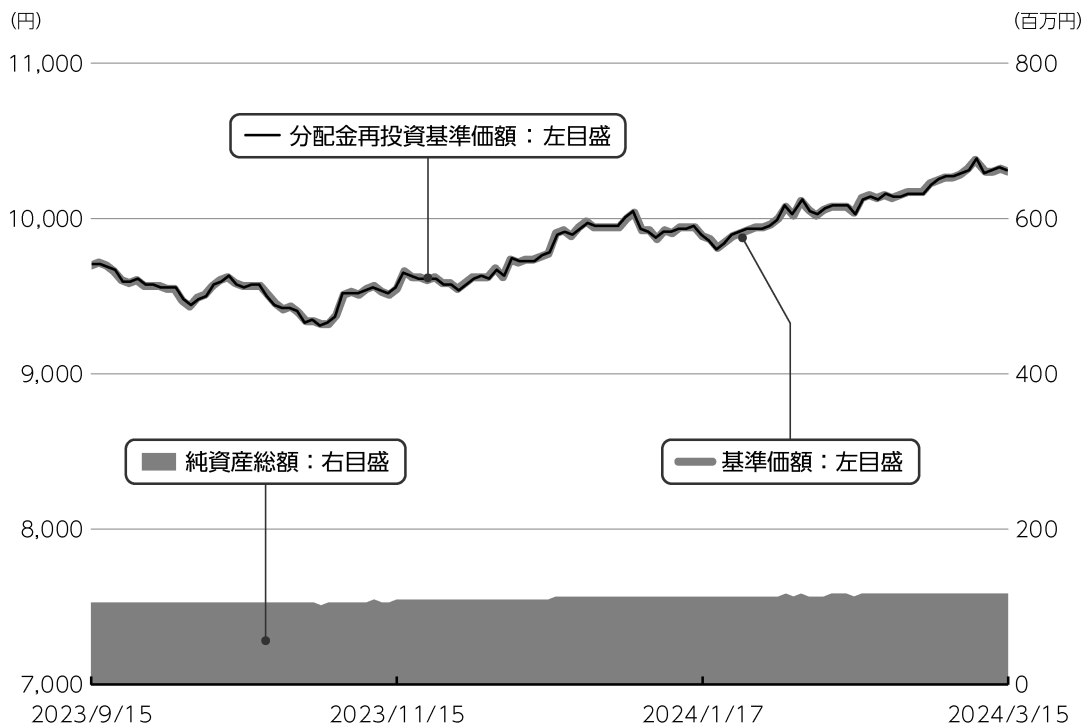
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第9期：2023年9月16日～2024年3月15日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首	9,698円
第9期末	10,304円
既払分配金	10円
騰落率	6.4%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.4% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

オーストラリアのリート市況が上昇したことがプラス要因となりました。

下落要因

豪ドル売り/円買いの為替ヘッジコスト (金利差相当分の費用) などがマイナス要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率 (対純資産総額)
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	7.0%	39.8%
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	25.6%	17.7%
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	13.7%	35.0%

第9期：2023年9月16日～2024年3月15日

投資環境について

▶ 株式市況

オーストラリアの株式市況は上昇しました。

主要中銀による利下げ観測の高まりに加えて、一部企業の決算が良好であったことなどを背景に上昇しました。

▶ 債券市況

オーストラリアの社債市況は上昇しました。

債券市場では、オーストラリア準備銀行（RBA）による利上げ観測の後退などを受けて、期間を通じて見るとオーストラリアの金利は低下しました。

こうした環境下、オーストラリアの金利

が低下したことに加えて、一部企業の良好な決算などを受けて、オーストラリア社債市場でスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したことなどがプラスに寄与し、オーストラリア社債市況は上昇しました。

▶ オーストラリアREIT市況

オーストラリアREIT市況は上昇しました。

オーストラリアの大手工業用REITが発表した決算内容が好感されたことに加えて、主要中銀による利下げ観測の高まりなどから、上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり> (年2回決算型)

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、原則として、40：40：20を維持することを基本としますが、バリュエーションや企業業績等の定量判断及び定性判断に基づき、投資環境の悪化が予想されたことから、期間の初めは、債券：株式：リート=40：31.3：15.7としてい

ました。
期間中においては、定性判断等を考慮した2023年11月の助言に基づき、債券：株式：リート=40：35：17.5へと変更し、その後は当該比率を目標とし、運用を行いました。
実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ **マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド**

銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

銘柄入替では、配当利回りが魅力的な FORTESCUE LTDの新規買付などを実施した一方、株価が上昇し、バリュエーションの面で投資魅力度が低下した SPARK NEW ZEALAND LTDの全売却などを実施しました。

▶ **マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド**

オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。

豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建

てとなるように外国為替予約取引等を行っています。

また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。

デュレーションについては、期間を通じて、市場平均に対して概ね中立水準としました。

また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

▶ **マッコーリー オーストラリア REITマザーファンド**

REITへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期
	2023年9月16日～2024年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 (0.097%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,175

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>（年2回決算型）

オーストラリアの債券、株式およびリートへ実質的な投資を行います。

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、原則として、40：40：20を維持することを基本としますが、今後も、バリュエーションや企業業績等の定量判断及び定性判断に基づき、柔軟に株式・リートの実質組入比率や、預金等の組入比率を調整し、投資リスクの抑制をはかる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ マッコリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

▶ マッコリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリア経済に関して、移民増加による人口増が国内総生産（GDP）の成長を下支えする一方、インフレの持続

要因となっています。そのため、インフレの高止まりを受けた金融引き締め政策の継続などによる家計や企業のバランスシートへの悪影響については、引き続き注視する必要があるとみています。

運用チームは、オーストラリア社債市場を取り巻く不確実なマクロ環境を注視しつつ、デュレーションを戦略的に構築し、ボラティリティに対しては慎重な見方を維持しながら銘柄選択を行っていく方針です。

債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

▶ マッコリー オーストラリアREITマザーファンド

オーストラリアREIT市況は、今後の政策金利引き下げに伴う金利低下などにより、収益性が改善し、底堅い推移になると見えています。

不動産の用途別では、需給要因により賃料上昇が堅調で空室率も低位を維持している工業用不動産などを魅力的に見る一方、ハイブリッドワークの普及などから事業環境が厳しいオフィスなどを慎重に

見えています。店舗用不動産については、中長期的に電子商取引（eコマース）の拡大の影響はあるものの、移民増加に伴う人口増加による小売売上高の増加などがサポート要因となり、収益が上向く局面があると見えています。なお、短期的に賃料上昇率が鈍化すると見えていることか

ら、店舗用不動産への投資は慎重姿勢を維持しています。

運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

2023年9月16日～2024年3月15日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	80	0.820	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(46)	(0.470)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.012	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.004)	
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	6	0.057	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.045)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.010)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	87	0.889	

期中の平均基準価額は、9,802円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

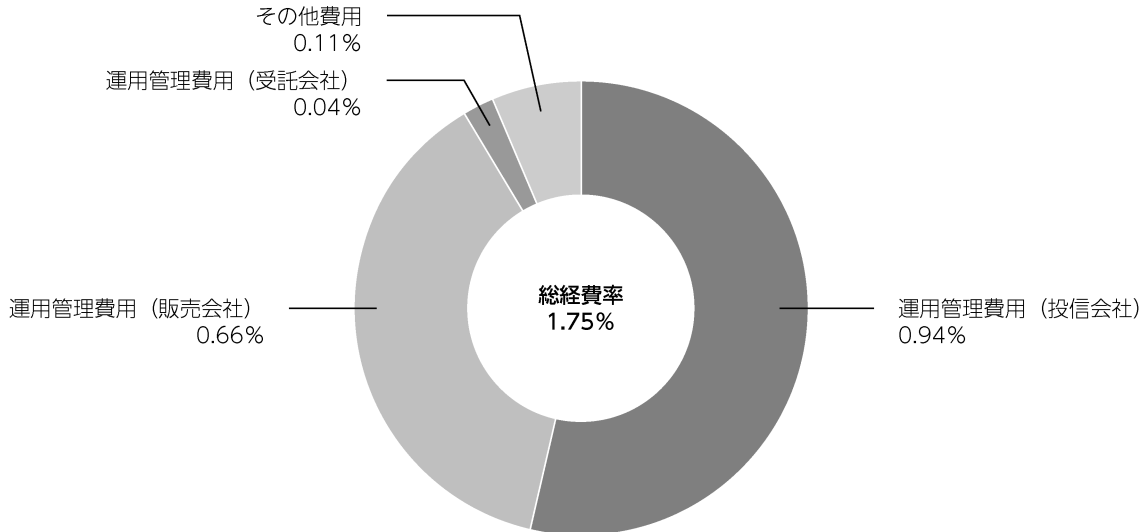
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.75%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月16日～2024年3月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	3,783	6,390	3,449	5,830
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	2,903	4,540	3,077	5,200
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	4,439	7,770	2,961	5,360

○株式売買比率

(2023年9月16日～2024年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,292,720千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,889,855千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.44

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月16日～2024年3月15日)

利害関係人との取引状況

<オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり> (年2回決算型) >

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$		
為替先物取引	百万円 702	百万円 4	百万円 712	百万円 11	% 0.6	% 1.5
為替直物取引	5	5	5	—	100.0	—

<マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$		
為替直物取引	百万円 1,012	百万円 —	百万円 1,185	百万円 80	% —	% 6.8

平均保有割合 1.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 232	百万円 -	% -	百万円 380	百万円 68	% 17.9

平均保有割合 1.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 310	百万円 -	% -	百万円 312	百万円 19	% 6.1

平均保有割合 1.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年3月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	26,186	26,521	46,847
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	10,716	10,541	20,762
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	19,459	20,937	41,121

○投資信託財産の構成

(2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	46,847	39.5
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	20,762	17.5
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	41,121	34.7
コール・ローン等、その他	9,860	8.3
投資信託財産総額	118,590	100.0

(注) マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (3,539,541千円) の投資信託財産総額 (3,560,736千円) に対する比率は99.4%です。

(注) マッコーリー オーストラリアREITマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (1,783,971千円) の投資信託財産総額 (1,799,627千円) に対する比率は99.1%です。

(注) マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (3,108,857千円) の投資信託財産総額 (3,127,303千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 期末における外貨建純資産 (0.51千円) の投資信託財産総額 (118,590千円) に対する比率は0.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=148.59円	1 ユーロ=161.68円	1 オーストラリアドル=97.62円	
------------------	---------------	--------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	225,183,174
コール・ローン等	8,999,561
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド(評価額)	46,847,127
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	20,762,407
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	41,121,230
未収入金	107,452,849
(B) 負債	107,620,963
未払金	106,597,627
未払収益分配金	114,091
未払信託報酬	907,125
その他未払費用	2,120
(C) 純資産総額(A-B)	117,562,211
元本	114,091,909
次期繰越損益金	3,470,302
(D) 受益権総口数	114,091.909口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,304円

○損益の状況 (2023年9月16日～2024年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 411
受取利息	558
支払利息	△ 969
(B) 有価証券売買損益	7,979,867
売買益	17,763,505
売買損	△ 9,783,638
(C) 信託報酬等	△ 915,185
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,064,271
(E) 前期繰越損益金	△ 2,220,023
(F) 追加信託差損益金	△ 1,259,855
(配当等相当額)	(5,455,421)
(売買損益相当額)	(△ 6,715,276)
(G) 計(D+E+F)	3,584,393
(H) 収益分配金	△ 114,091
次期繰越損益金(G+H)	3,470,302
追加信託差損益金	△ 1,259,855
(配当等相当額)	(5,465,586)
(売買損益相当額)	(△ 6,725,441)
分配準備積立金	7,940,730
繰越損益金	△ 3,210,573

<注記事項>

- ①期首元本額 109,884,857円
 期中追加設定元本額 4,586,270円
 期中一部解約元本額 379,218円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0304円です。

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2023年9月16日～ 2024年3月15日
費用控除後の配当等収益額	2,061,657円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	5,465,586円
分配準備積立金額	5,993,164円
当ファンドの分配対象収益額	13,520,407円
1万口当たり収益分配対象額	1,185円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	114,091円

- ③「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
 「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
 「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金 (税込み)	10円
-----------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金) となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

(2023年10月1日)

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

《第11期》決算日2023年10月10日

〔計算期間：2022年10月8日～2023年10月10日〕

「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」は、10月10日に第11期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。 オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 債券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社は何れも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
7期(2019年10月7日)	12,226	△	1.0	94.7	△1.5	9,525
8期(2020年10月7日)	12,985		6.2	95.6	0.9	8,444
9期(2021年10月7日)	14,445		11.2	92.1	△0.7	6,838
10期(2022年10月7日)	15,277		5.8	92.8	△9.2	3,555
11期(2023年10月10日)	16,499		8.0	95.1	△2.3	3,434

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2022年10月7日	円 15,277	% —	% 92.8	% △9.2
10月末	15,583	2.0	94.3	△6.0
11月末	15,384	0.7	93.4	△3.9
12月末	14,790	△3.2	94.1	△2.2
2023年1月末	15,532	1.7	92.3	△0.9
2月末	15,457	1.2	92.4	1.6
3月末	15,370	0.6	92.3	△1.8
4月末	15,324	0.3	91.7	△2.2
5月末	15,596	2.1	93.7	△3.2
6月末	16,319	6.8	92.7	△7.5
7月末	16,114	5.5	92.1	△7.6
8月末	16,402	7.4	94.4	△5.3
9月末	16,564	8.4	95.7	△3.4
(期 末) 2023年10月10日	16,499	8.0	95.1	△2.3

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・豪州社債市況が上昇したこと等。
- ・豪ドルが対円で上昇したこと等。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州社債市況は上昇しました。
- ・債券市場では、豪州準備銀行（RBA）による政策金利引き上げなどを受けて、期間を通じて見ると豪州金利は上昇しました。こうした環境下、豪州金利が上昇したことなどがマイナスに作用した一方、インフレ鈍化を示唆する同国の経済指標の発表などを受けて投資家心理が改善し、豪州社債市場でスプレッドが縮小したことなどがプラスに寄与したことから社債市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
 - ・オーストラリアと日本での金融政策のスタンスの違いに加え、オーストラリアと日本の金利差が拡大した局面で豪ドルが対円で大きく上昇したことなどから、期間を通じてみると、豪ドルは対円で上昇しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
 - ・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
 - ・また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
 - ・デュレーションについては、期間を通じて、市場平均に対して概ね中立水準としました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

○今後の運用方針

- ・オーストラリア経済に関して、供給が本格的に回復する一方、金融引き締め政策の継続などが家計や企業のバランスシートに悪影響を及ぼしており、需要に減速感があると見ています。需要の減速が供給回復によるプラス効果を打ち消し、経済が緩やかな成長基調となっているものの、インフレ見通しが依然として不確実である中、RBAは板挟みの状態にあります。引き締め政策は需要の後退と経済成長の減速を招き、1人当たり国内総生産（GDP）基準では景気後退のリスクを高めるものと考えており、運用チームは、オーストラリア社債市況を取り巻く不確実なマクロ環境を注視しつつ、デュレーションを戦略的に構築し、ボラティリティに対しては慎重な見方を維持しながら銘柄選択を行っていく方針です。
- ・債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年10月8日～2023年10月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.040 (0.040) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.046	
期中の平均基準価額は、15,685円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月8日～2023年10月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル -	千アメリカドル 378
	オーストラリア	社債券	千オーストラリアドル 13,305	千オーストラリアドル 13,784 (600)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 2,747	百万円 3,347	百万円 2,801	百万円 3,662

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月8日～2023年10月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,909	百万円 83	% 4.3	百万円 2,304	百万円 91	% 3.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年10月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		末				
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 850	千アメリカドル 787	千円 117,012	% 3.4	% —	% 1.9	% —	% 1.5
オーストラリア	千オーストラリアドル 35,200	千オーストラリアドル 33,000	3,148,897	91.7	—	41.6	48.8	1.4
合 計	—	—	3,265,910	95.1	—	43.5	48.8	2.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当期		償還年月日	
				額面金額	評価額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
	社債券						
	4.875 MACQUARIE B 250610	4.875	350	341	50,689	2025/6/10	
	FRN SCENTRE GRO 800924	4.75	500	446	66,323	2080/9/24	
小計					117,012		
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	特殊債券						
	1 NBN CO LTD 251203	1.0	900	827	78,962	2025/12/3	
	2.2 AIRSERV AUST 300515	2.2	500	417	39,877	2030/5/15	
	4.2 NBN CO LTD 270414	4.2	500	486	46,419	2027/4/14	
	社債券						
	1.814 AUSGRID FIN 270205	1.814	700	622	59,369	2027/2/5	
	1.9 DWP FINANCE 280804	1.9	700	577	55,121	2028/8/4	
	2.1 LONSDALE FINA 271015	2.1	500	438	41,806	2027/10/15	
	2.119 AGI FINANCE 270624	2.119	1,500	1,332	127,099	2027/6/24	
	2.2 GTA FINANCE C 270826	2.2	500	436	41,687	2027/8/26	
	2.25 MACQUARIE UN 300522	2.25	500	408	38,958	2030/5/22	
	2.3 QPH FINANCE C 270729	2.3	900	795	75,926	2027/7/29	
	2.4 COMMONWEALT 270114	2.4	500	461	44,043	2027/1/14	
	2.4 VER FINCO PTY 280921	2.4	1,000	838	79,970	2028/9/21	
	2.5 SUNCORP-MET 270125	2.5	900	826	78,869	2027/1/25	
	2.6 MIRVAC GROUP 290918	2.6	500	412	39,340	2029/9/18	
	2.7 WSO FINANCE P 300628	2.7	500	406	38,798	2030/6/28	
	2.849 GPT WHL OFF 320220	2.849	500	368	35,190	2032/2/20	
	2.9 AURIZON NETWO 300902	2.9	500	382	36,496	2030/9/2	
	3 AURIZON FINANCE 280309	3.0	500	436	41,611	2028/3/9	
	3 EDITH COWAN UNI 290411	3.0	450	398	38,021	2029/4/11	
	3.026 CIP FUNDING 271216	3.026	500	443	42,290	2027/12/16	
	3.15 WESTCONNEX F 310331	3.15	600	484	46,228	2031/3/31	
	3.25 TRANSURBAN Q 310805	3.25	500	397	37,976	2031/8/5	
	3.7 DOWNER GROUP 260429	3.7	500	472	45,046	2026/4/29	
	4.3 INCITEC PIVOT 260318	4.3	1,000	967	92,346	2026/3/18	
	4.4 COMMONWEALT 270818	4.4	500	489	46,663	2027/8/18	
	4.5 WSO FINANCE P 270331	4.5	700	681	65,044	2027/3/31	
	4.7 BANK OF QUEEN 270127	4.7	500	488	46,571	2027/1/27	
	4.7 BENDIGO AND 260515	4.7	500	492	46,951	2026/5/15	
	4.75 QANTAS AIRWA 261012	4.75	500	487	46,550	2026/10/12	
	4.8 WESTPAC BAN 280216	4.8	500	493	47,121	2028/2/16	
	4.9 COMMONWEALT 280817	4.9	1,000	988	94,311	2028/8/17	
	4.95 AUST & NZ B 280911	4.95	500	494	47,184	2028/9/11	
	4.95 NATIONAL A 271125	4.95	500	498	47,530	2027/11/25	
	5.2 NBN CO LTD 280825	5.2	500	497	47,455	2028/8/25	
	5.25 PACIFIC NATI 250519	5.25	500	490	46,798	2025/5/19	
	5.25 QANTAS AIRWA 300909	5.25	500	468	44,660	2030/9/9	
	5.3 WESTPAC BAN 271111	5.3	500	505	48,248	2027/11/11	
	5.35 AUST & NZ B 271104	5.35	500	505	48,251	2027/11/4	
	5.4 PACIFIC NATIO 270512	5.4	500	472	45,041	2027/5/12	
	5.95 WORLEY FIN S 281013	5.95	500	488	46,584	2028/10/13	

銘	柄	利 率	当 額面金額	期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券					
	6.109 AGI FINANCE 300628	6.109	500	497	47,475	2030/6/28
	6.134 AUSNET SERV 330531	6.134	500	488	46,642	2033/5/31
	6.15 WESTCONNEX F 301009	6.15	500	499	47,661	2030/10/9
	FRN AMPOL LTD 801209	7.727	600	610	58,288	2080/12/9
	FRN AUSNET SERV 801006	7.229	700	702	67,038	2080/10/6
	FRN AUST & NZ B 310226	5.985	500	502	47,905	2031/2/26
	FRN AUST & NZ B 320812	5.906	500	497	47,465	2032/8/12
	FRN AUST & NZ B 330516	5.845	500	492	47,000	2033/5/16
	FRN BANK OF QUEEN 261027	5.0759	500	495	47,259	2026/10/27
	FRN BENDIGO AND 301119	6.0943	500	497	47,496	2030/11/19
	FRN COMMONWEAL 310820	5.4643	500	494	47,225	2031/8/20
	FRN COMMONWEAL 321109	6.86	500	513	49,017	2032/11/9
	FRN MACQUARIE B 300528	7.035	600	610	58,234	2030/5/28
	FRN NATIONAL A 301118	5.8499	900	901	86,060	2030/11/18
	FRN NATIONAL A 311118	3.225	550	507	48,416	2031/11/18
	FRN QBE INSURANCE 390628	7.2469	500	510	48,731	2039/6/28
	FRN SUNCORP-MET 340627	6.4898	500	502	47,934	2034/6/27
	FRN WESTPAC BAN 290816	4.334	1,000	988	94,292	2029/8/16
	FRN WESTPAC BAN 330623	6.491	500	506	48,323	2033/6/23
	小 計				3,148,897	
	合 計				3,265,910	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引	AUST10Y	百万円	百万円
		AUST3Y	63	—
			—	141

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,265,910	% 95.0
コール・ローン等、その他	171,768	5.0
投資信託財産総額	3,437,678	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (3,402,527千円) の投資信託財産総額 (3,437,678千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=148.60円	1 ユーロ=157.16円	1 オーストラリアドル=95.42円
------------------	---------------	--------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,693,422,718
コール・ローン等	103,016,272
公社債(評価額)	3,265,910,683
未収入金	256,668,827
未収利息	29,813,088
前払費用	1,522,426
差入委託証拠金	36,491,422
(B) 負債	258,771,489
未払金	258,771,457
未払利息	32
(C) 純資産総額(A-B)	3,434,651,229
元本	2,081,743,331
次期繰越損益金	1,352,907,898
(D) 受益権総口数	2,081,743,331口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,499円

<注記事項>

①期首元本額 2,327,225,445円
 期中追加設定元本額 246,924,693円
 期中一部解約元本額 492,406,807円
 また、1口当たり純資産額は、期末16,499円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	2,055,942,836円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	25,800,495円
合計	2,081,743,331円

○損益の状況 (2022年10月8日~2023年10月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	149,886,546
受取利息	150,030,750
その他収益金	60,227
支払利息	△ 204,431
(B) 有価証券売買損益	113,864,581
売買益	169,831,497
売買損	△ 55,966,916
(C) 先物取引等取引損益	3,961,218
取引益	39,423,697
取引損	△ 35,462,479
(D) 保管費用等	△ 1,423,901
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	266,288,444
(F) 前期繰越損益金	1,228,017,340
(G) 追加信託差損益金	137,105,307
(H) 解約差損益金	△ 278,503,193
(I) 計(E+F+G+H)	1,352,907,898
次期繰越損益金(I)	1,352,907,898

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

《第12期》決算日2024年3月15日

[計算期間：2023年9月16日～2024年3月15日]

「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、3月15日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社はどれも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	S&P/ASX 200指数 (配当込み、円換算ベース)	騰落率			
8期(2022年3月15日)	14,617	8.9	14,603	4.0	97.8	—	4,104
9期(2022年9月15日)	16,029	9.7	16,238	11.2	95.4	—	3,263
10期(2023年3月15日)	15,835	△1.2	15,845	△2.4	95.5	—	2,971
11期(2023年9月15日)	17,272	9.1	17,545	10.7	96.1	—	2,731
12期(2024年3月15日)	19,640	13.7	19,685	12.2	96.4	—	3,124

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) S&P/ASX 200指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S&P/ASX 200指数(配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200指数(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200はS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
- (注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)	騰 落 率			
(期 首) 2023年 9 月 15 日	円	%		%	%	%
	17,272	—	17,545	—	96.1	—
9 月 末	17,190	△ 0.5	17,318	△ 1.3	95.8	—
10 月 末	16,598	△ 3.9	16,549	△ 5.7	98.0	—
11 月 末	17,582	1.8	17,682	0.8	98.7	—
12 月 末	18,591	7.6	19,067	8.7	99.2	—
2024年 1 月 末	18,744	8.5	19,075	8.7	98.3	—
2 月 末	19,411	12.4	19,470	11.0	98.3	—
(期 末) 2024年 3 月 15 日	19,640	13.7	19,685	12.2	96.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

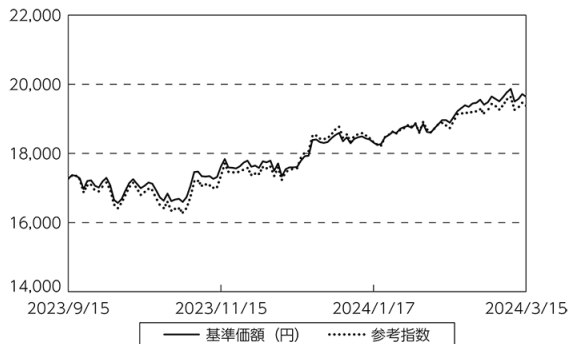
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ13.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・保有銘柄の WESTPAC BANKING CORP や COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA などの株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
- ・豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・オーストラリアの株式市況は上昇しました。
- ・主要中銀による利下げ観測の高まりに加えて、一部企業の決算が良好であったことなどを背景に上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは、期間を通しては対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・銘柄入替では、配当利回りが魅力的なFORTEESCUE LTDの新規買付などを実施した一方、株価が上昇し、バリュエーションの面で投資魅力度が低下したSPARK NEW ZEALAND LTDの全売却などを実施しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年9月16日～2024年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.050 (0.049) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	11	0.063	
期中の平均基準価額は、18,045円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月16日～2024年3月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 12,698	千オーストラリアドル 7,026	百株 12,780	千オーストラリアドル 6,301

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2023年9月16日～2024年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,292,720千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,889,855千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.44

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月16日～2024年3月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 310	百万円 —	% —	百万円 312	百万円 19	% 6.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2024年3月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
BHP GROUP LTD	823	860	3,707	361,884	素材
CSL LTD	42	43	1,220	119,124	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	216	272	793	77,454	エネルギー
RIO TINTO LTD	107	123	1,470	143,545	素材
QBE INSURANCE GROUP LTD	552	822	1,426	139,228	保険
LENLEASE GROUP	194	—	—	—	不動産管理・開発
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	165	178	2,077	202,844	銀行
WESTPAC BANKING CORP	743	743	1,968	192,208	銀行
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	337	230	770	75,245	銀行
QANTAS AIRWAYS LTD	551	—	—	—	運輸
AMP LTD	1,648	2,071	226	22,148	金融サービス
COMPUTERSHARE LTD	95	57	141	13,841	商業・専門サービス
ARISTOCRAT LEISURE LTD	77	103	476	46,559	消費者サービス
ORIGIN ENERGY LTD	427	809	727	71,006	公益事業
SONIC HEALTHCARE LTD	66	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SUNCORP GROUP LTD	707	702	1,115	108,872	保険
BLUESCOPE STEEL LTD	200	—	—	—	素材
PERPETUAL LTD	194	209	510	49,847	金融サービス
DOWNER EDI LTD	—	210	101	9,925	商業・専門サービス
AGL ENERGY LTD	288	325	281	27,500	公益事業
FORTESCUE LTD	—	412	1,010	98,663	素材
METCASH LTD	964	—	—	—	生活必需品流通・小売り
JB HI-FI LTD	122	138	830	81,083	一般消費財・サービス流通・小売り
MEDIBANK PRIVATE LTD	993	—	—	—	保険
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	838	—	—	—	金融サービス
SOUTH32 LTD	558	—	—	—	素材
MONADELPHOUS GROUP LTD	86	229	308	30,114	資本財
NRW HOLDINGS LTD	1,251	1,302	390	38,145	資本財
VIRGIN MONEY UK PLC - CDI	—	724	293	28,658	銀行
HELIX GROUP LTD	910	782	277	27,110	金融サービス
MAGELLAN FINANCIAL GROUP LTD	—	248	235	23,033	金融サービス
SPARK NEW ZEALAND LTD	736	—	—	—	電気通信サービス
KOGAN.COM LTD	—	70	60	5,942	一般消費財・サービス流通・小売り
ALTIUM LTD	64	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SERVICE STREAM LTD	—	2,347	294	28,757	資本財
NORTHERN STAR RESOURCES LTD	310	365	511	49,967	素材
COLES GROUP LTD	650	540	902	88,082	生活必需品流通・小売り
AUB GROUP LTD	197	222	677	66,110	保険
PREMIER INVESTMENTS LTD	261	263	804	78,540	一般消費財・サービス流通・小売り
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	309	—	—	—	運輸
G8 EDUCATION LTD	2,336	2,904	351	34,306	消費者サービス
INSIGNIA FINANCIAL LTD	1,803	1,574	370	36,131	金融サービス
NICKEL INDUSTRIES LTD	3,900	1,857	149	14,600	素材
ADAIRS LTD	975	985	239	23,378	一般消費財・サービス流通・小売り
SMARTGROUP CORP LTD	184	232	217	21,232	商業・専門サービス
INGHAMS GROUP LTD	—	242	84	8,297	食品・飲料・タバコ

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
TELSTRA GROUP LTD	4,413	4,413	1,672	163,272	電気通信サービス	
PERSEUS MINING LTD	1,689	—	—	—	素材	
TECHNOLOGY ONE LTD	138	171	279	27,238	ソフトウェア・サービス	
ANZ GROUP HOLDINGS LTD	358	478	1,372	134,015	銀行	
GRANGE RESOURCES LTD	—	1,726	71	6,995	素材	
MCMILLAN SHAKESPEARE LTD	213	136	270	26,437	商業・専門サービス	
DALRYMPLE BAY INFRASTRUCTURE	2,463	2,754	760	74,221	運輸	
WEBJET LTD	336	473	363	35,474	消費者サービス	
VENTIA SERVICES GROUP PTY LT	770	1,654	628	61,375	資本財	
MEGAPORT LTD	—	28	44	4,353	ソフトウェア・サービス	
AUDINATE GROUP LTD	—	155	353	34,470	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
合 計	株 数 ・ 金 額	35,283	35,201	30,846	3,011,246	
	銘柄数 < 比率 >	47	45	—	< 96.4% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,011,246	% 96.3
コール・ローン等、その他	116,057	3.7
投資信託財産総額	3,127,303	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (3,108,857千円) の投資信託財産総額 (3,127,303千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=97.62円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,127,303,829	
コール・ローン等	58,400,787	
株式(評価額)	3,011,246,568	
未収入金	2,797,431	
未収配当金	54,859,043	
(B) 負債	3,039,705	
未払金	3,039,704	
未払利息	1	
(C) 純資産総額(A-B)	3,124,264,124	
元本	1,590,760,017	
次期繰越損益金	1,533,504,107	
(D) 受益権総口数	1,590,760,017口	
1万口当たり基準価額(C/D)	19,640円	

<注記事項>

- ①期首元本額 1,581,391,688円
 期中追加設定元本額 181,072,493円
 期中一部解約元本額 171,704,164円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9640円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	1,569,822,527円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	20,937,490円
合計	1,590,760,017円

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年9月16日~2024年3月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	76,753,468	
受取配当金	76,083,087	
受取利息	671,938	
支払利息	△ 1,557	
(B) 有価証券売買損益	315,535,853	
売買益	389,929,707	
売買損	△ 74,393,854	
(C) 保管費用等	△ 1,460,566	
(D) 当期損益金(A+B+C)	390,828,755	
(E) 前期繰越損益金	1,150,053,681	
(F) 追加信託差損益金	137,447,507	
(G) 解約差損益金	△ 144,825,836	
(H) 計(D+E+F+G)	1,533,504,107	
次期繰越損益金(H)	1,533,504,107	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド

【第18期】決算日2024年3月15日

[計算期間：2023年9月16日～2024年3月15日]

「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」は、3月15日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割当度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社はどれも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比	純総資産額
	円	%	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)		
14期(2022年3月15日)	15,003	1.6	14,834.72	3.5	97.2	百万円 2,240
15期(2022年9月15日)	14,745	△ 1.7	14,873.87	0.3	97.1	1,857
16期(2023年3月15日)	14,171	△ 3.9	14,361.11	△ 3.4	96.8	1,715
17期(2023年9月15日)	15,685	10.7	15,624.36	8.8	96.5	1,540
18期(2024年3月15日)	19,695	25.6	19,505.48	24.8	97.3	1,791

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)		投 資 信 託 券 率 組 入 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年9月15日	円 15,685	% —	15,624.36	% —	% 96.5
9月末	15,173	△ 3.3	15,036.65	△ 3.8	96.0
10月末	14,000	△10.7	13,805.84	△11.6	94.6
11月末	15,969	1.8	15,833.00	1.3	94.7
12月末	17,629	12.4	17,628.87	12.8	97.2
2024年1月末	17,498	11.6	17,507.74	12.1	97.3
2月末	18,629	18.8	18,587.54	19.0	96.7
(期 末) 2024年3月15日	19,695	25.6	19,505.48	24.8	97.3

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ25.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ファンドで保有する銘柄がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、「GOODMAN GROUP」(工業用)や「SCENTRE GROUP」(店舗用)などが上昇しました。
- ・豪ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎オーストラリアREIT市況

- ・オーストラリアREIT市況は、当期間を通しては上昇しました。
- ・オーストラリアの大手工業用REITが発表した決算内容が好感されたことに加えて、主要中銀による利下げ観測の高まりなどから、上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは、当期間を通しては対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・REITへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

○今後の運用方針

- ・オーストラリアREIT市況は、今後の政策金利引き下げに伴う金利低下などにより、収益性が改善し、底堅い推移になると見えています。
- ・不動産の用途別では、需給要因により賃料上昇が堅調で空室率も低位を維持している工業用不動産などを魅力的に見る一方、ハイブリッド

ワークの普及などから事業環境が厳しいオフィスなどを慎重に見ています。店舗用不動産については、中長期的に電子商取引（eコマース）の拡大の影響はあるものの、移民増加に伴う人口増加による小売売上高の増加などがサポート要因となり、収益が上向く局面があると見えています。なお、短期的に賃料上昇率が鈍化すると見ていることから、店舗用不動産への投資は慎重姿勢を維持しています。

- ・運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月16日～2024年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.042 (0.042)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (20) (5)	0.147 (0.120) (0.028)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.189	
期中の平均基準価額は、16,656円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月16日～2024年3月15日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付		
		口 数	金 額	口 数	金 額	
外	オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル	
	VICINITY CENTRES	93	168	106	209	
	INGENIA COMMUNITIES GROUP	19	76	7	33	
	CHARTER HALL GROUP	27	302	16	188	
	REGION RE LTD	20	41	21	48	
	NATIONAL STORAGE REIT	54 (7)	115 (17)	59	133	
	SCENTRE GROUP	182 (21)	481 (66)	149	420	
	ARENA REIT	18 (2)	62 (9)	20	72	
	HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	4	13	5	15	
	RURAL FUNDS GROUP	4	8	5	10	
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	35	104	38	123	
	CENTURIA CAPITAL GROUP	21	28	143	241	
	HOMEKO DAILY NEEDS REIT	101 (7)	115 (9)	82	98	
	DEXUS/AU	13	95	23	173	
	HEALTHCO REIT	39 (1)	55 (ー)	173	243	
	国	HMC CAPITAL LTD	8	39	16	100
		ABACUS STORAGE KING	2	2	50	52
GPT GROUP		27	109	30	130	
MIRVAC GROUP		85	172	93	194	
STOCKLAND		140	601	56	237	
GOODMAN GROUP		40	882	78	2,001	
小 計		941 (42)	3,479 (103)	1,180	4,728	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月16日～2024年3月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	232	—	—	380	68	17.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2024年3月15日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%
VICINITY CENTRES	249	236	492	48,116	2.7
INGENIA COMMUNITIES GROUP	28	39	198	19,375	1.1
CHARTER HALL GROUP	85	96	1,278	124,771	7.0
REGION RE LTD	114	112	249	24,310	1.4
NATIONAL STORAGE REIT	308	311	737	72,003	4.0
SCENTRE GROUP	758	813	2,676	261,260	14.6
ARENA REIT	106	107	377	36,813	2.1
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	27	27	83	8,187	0.5
RURAL FUNDS GROUP	27	27	57	5,629	0.3
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	202	198	694	67,754	3.8
CENTURIA CAPITAL GROUP	121	—	—	—	—
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	409	435	553	54,036	3.0
DEXUS/AU	77	67	509	49,781	2.8
HEALTHCO REIT	224	91	128	12,592	0.7
HMC CAPITAL LTD	43	36	260	25,390	1.4
ABACUS STORAGE KING	48	—	—	—	—
GPT GROUP	158	156	677	66,162	3.7
MIRVAC GROUP	487	479	1,035	101,125	5.6
STOCKLAND	278	363	1,722	168,107	9.4
GOODMAN GROUP	236	197	6,129	598,370	33.4
合 計	3,996	3,799	17,863	1,743,792	
銘 柄 数 < 比 率 >	20	18	—	<97.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

●GOODMAN GROUP（期末組入比率33.4%）

① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S & P / A S X 200 A - R E I T I n d e xにおいて約36.7%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

●SCENTRE GROUP（期末組入比率14.6%）

① 信託の概要

センター・グループは、豪州とニュージーランドでショッピングセンターの保有、運営を行っています。S & P / A S X 200 A - R E I T I n d e xにおいて約11.7%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <https://www.scentregroup.com/>

○投資信託財産の構成

(2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,743,792	% 96.9
コール・ローン等、その他	55,835	3.1
投資信託財産総額	1,799,627	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,783,971千円) の投資信託財産総額 (1,799,627千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=97.62円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,799,627,744 円
コール・ローン等	15,557,790
投資証券(評価額)	1,743,792,944
未収入金	37,181,303
未収配当金	3,095,707
(B) 負債	8,262,100
未払金	7,042,100
未払解約金	1,220,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,791,365,644
元本	909,571,235
次期繰越損益金	881,794,409
(D) 受益権総口数	909,571,235口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,695円

<注記事項>

- ①期首元本額 982,379,300円
 期中追加設定元本額 161,528,982円
 期中一部解約元本額 234,337,047円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9695円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	793,077,750円
三菱UFJ/マッコーリー オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	105,951,516円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	10,541,969円
合計	909,571,235円

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年9月16日~2024年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	31,257,307 円
受取配当金	30,746,913
受取利息	511,357
支払利息	△ 963
(B) 有価証券売買損益	367,397,231
売買益	383,542,949
売買損	△ 16,145,718
(C) 保管費用等	△ 2,451,969
(D) 当期損益金(A+B+C)	396,202,569
(E) 前期繰越損益金	558,453,775
(F) 追加信託差損益金	90,201,018
(G) 解約差損益金	△163,062,953
(H) 計(D+E+F+G)	881,794,409
次期繰越損益金(H)	881,794,409

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。